

# 完成 人と環境に優しく災害に強い市役所新庁舎

市役所が戻ってくるのを、組合員一同首を長くして待っていました。新庁舎は総合庁舎になり、以前よりも職員や来庁舎が増えるので、この一帯もとても賑やかになると思います。私達も多くの方々の期待に応えられるよう、気合を入れて頑張っていきたいです。

那覇市国際通り県庁前商店街振興組合 理事長／真屋 稔さん  
事務局／金城 マサ子さん

市役所があると地域がとても活気づきます。昼食時間の飲食店や、夕方のウィンドショッピングなど、市役所が戻ってきて再び通りにぎやかになることを思うととても楽しみです。長年市民の生活を守ってくれた旧庁舎が無くなるのはすごく寂しかったのですが、新しい庁舎は“天空にそびえる庁舎”という感じで美しく、嬉しい気持ちでオープンを待ちにしています。また定時に聞こえていたあの鐘(やまびこの鐘)や銅像なども戻るといことで、懐かしさを感じられる部分もあり嬉しです。

泉崎1丁目自治会長／小橋川 憲男さん

## 太陽光発電

太陽電池パネルを、屋上と7階テラスへ設置。これによるCO2削減効果は年間およそ2万kg程度と想定されています。発電量は、1階の情報マルチモニターで確認することができます。



## 災害への迅速な対応が可能[5階]

5階には市長室、市民防災室、防災無線室、庁議室など、緊急時の本部機能をまとめて配置。また、対策本部となる庁議室には大型モニターを設置し、現場の様子やその他情報を迅速に確認できるようにしています。



## 市民の憩いのテラス&レストラン[2階]

外階段でつながった2階テラスは憩いの場としてゆくりご利用いただけます。テラスの奥にはレストランもあります。



## 外壁ルーバー

外壁は、日射の遮断と適度な通風を確保するため、ルーバーを設置し、建物の熱負荷の軽減を図ります。

# 新庁舎 TRIVIA

～旧庁舎から2年4か月ぶりに里帰り～

## 壁面の緑たち

旧庁舎にあった数種類の植物は、市民から募った“緑の里親”の手により大事に管理され、新庁舎へと戻ってきました。新庁舎では、里親のネームプレートをつけ、環境共生都市“なは”を象徴する庁舎へと彩っていきます。



3年間大事に育てなければという使命感と、かわいい花達に囲まれる嬉しさを感じながら育ててきました。愛情いっぱい育てたので、お別れの日が近づくと寂しくなりましたが、新庁舎でも元気に育ってみんなを案じてくれることを願っています。市役所で成長を見られるのをとても楽しみにしています。ブーゲンビレア10鉢の里親を務めた金城光子さん

## シーサー

旧庁舎では、互いに遠い場所から見つめ合っていた2体のシーサー。新庁舎では、市役所のシンボルである大きな2本ガジュマルの間に、堂々と2体並んで立っています。



## 日本に3体しかない「生誕の像」

日本を代表する彫刻家朝倉文夫氏により製作され、1959年に同氏から那覇市へ贈られたもの。終戦直後の混乱と廃墟のなかから力強く立ち上がるたくましい青年の意気が示されており、朝倉氏が全精魂を打ち込んだ傑作と言われています。50年以上那覇市民を見守り続けたこの像が、再び庁舎に戻ってきました。



## やまびこの鐘

1960年、戦後の沖縄の事情を知った兵庫県民が、沖縄の同胞に希望と勇気を与えたいと大々的な募金運動を展開し、那覇市に贈った友愛のチャイムベル。音源はオルゴールで、最上階にあったスピーカーとつながって鳴るようにしていました。新庁舎でも引き続きチャムを鳴らす予定です。



那覇市役所は、仮庁舎・銘苅庁舎・教育委員会庁舎の3庁舎が統合して新総合庁舎となり、平成25年1月4日にオープンします

地上12階 54m

地下2階 10m

## 電気室、機械室[4階]

電気室や機械室は津波や洪水を想定し、地下ではなく4階に設置。また電力受電を2回線にすることにより、受電ルートの障害などによる停電のリスクを低くしています。万が一の停電時には、自家発電により72時間分の電力を確保できるようにしています。



## プレイスペース[3階]

子どもみらい部のある3階中央部にはプレイスペースを設置。子ども連れで安心して来庁できます。



## 免震構造

大規模地震にも耐えられるように、庁舎全体は振動を吸収するゴムの上に乗っており、外階段やスロープも、地面には固定されない構造になっています。



## 再生水

トイレの洗浄水に再生水を利用することで、限りある水資源に配慮しています。



外階段の手すりはこのようになっていて、揺れが建物に伝わらないようになっています。

## 1階ロビー

【LED】  
トイレや廊下などのダウンライトや高天井部分の照明にはLEDを使用

【市民会議室】  
市民が利用できる会議室を設置

【自動交付機】  
2台設置。  
平日8時半～18時の間利用できます。

【エスカレーター】  
市民が多く利用する窓口を1～3階に配置し、そのフロアにはエスカレーターを設置

【情報マルチモニター】  
タッチパネルで各課への誘導や窓口案内をサポートします

## 新庁舎移転に伴い教育委員会(事務局、学校、給食センター、公民館、図書館)の電話番号が変わります

教育委員会事務局の新庁舎移転に伴い、教育委員会事務局および関係機関の電話番号およびFAX番号が以下のとおり変わります。

【変更日】学校、給食センター：平成24年12月25日(火)  
事務局、公民館、図書館：平成25年1月7日(月)  
【変更内容】局番が「891」から「917」に変更。下4ケタは変更なし。  
例：学校教育課／電話「891-3506」→「917-3506」  
FAX「891-3522」→「917-3522」  
安謝小学校／電話「891-3301」→「917-3301」  
FAX「891-3341」→「917-3341」

※単独調理及び安謝、神原、城岳、古原の学校給食センターについては、これまでの電話番号を学校の非常用電話に使用するため、新たな番号が振られます。  
※開始時期以降に旧番号へかけた場合は、旧番号で振られます。

お問い合わせ  
教育委員会総務課 ☎891-3500 (1月6日まで)  
☎917-3500 (1月7日以降)

お問い合わせ 新庁舎建設室 ☎862-4260